

# 鹿児島県特産品協会だより

Vol. 46

令和元年度通常総会・第二回理事会

6月27日（木）、令和元年度通常総会及び第二回理事会を城山ホテル鹿児島にて開催し、平成30年度事業実績及び決算承認と令和元年度事業計画及び予算の報告を行いました。

三反園理事長は挨拶で「私の好きな言葉に『成功とは自分の汗の配当だ』があります。皆さん一致結束して一生懸命頑張つて、子供たちに素晴らしい元気な鹿児島を創ってバトンタッチしていきましょう」と力強く語られました。

今年度も本県特産品を「伝える・拡げる・創る・繋ぐ」をキーワードに、特産品のブランド力を高めるため、戦略的な販売強化に取り組み、「元氣の出る鹿児島づくり」を目指しますので、「ご指導・ご協力のほど、よろしくお願いたします。」



鹿児島物産展で伝統の技と味を  
県外消費者へPR!

東海地区では、丸栄百貨店において半世紀以上に渡り「大鹿児島展」を開催してきましたが、平成29年の営業終了に伴い、同年3月の「第58回 大鹿児島展」が最終回となりました。惜しまれながら途絶えてしまった鹿児島展ですが、同地区にある株式会社三越栄店がその思いを引き継ぐ形で、平成31年4月17日（水）～25日（木）に「第1回 どん鹿児島展」を初開催しました。

当物産展では、東海地区で開催する唯一の単卓催事として鹿児島県の伝統の技や食、観光情報等を幅広く紹介しました。

## 【消費者の声】

- ・ 鹿児島展がまた名古屋で開催されるのを待っていた。大変うれしい。
- ・ 観光で訪れた際に鹿児島にはいい物・美味しい物が多いと感じた。
- ・ 鹿児島のことをもっと知りたいので、もっともっと積極的に紹介したり・売り込んでほしい。

## 【三越バイヤーの声】

- ・ 鹿児島に興味・関心の高い方が多い（鹿児島を知っている方も多い）
- ・ 歴史ある鹿児島には、伝統の技や食が豊かで魅力に溢れている。
- ・ まだまだ紹介しきれっていない県産品がある。（地域性や素材性など）

## 【出展者の声】

- ・ 本県出身者や鹿児島ファンが多く、本県特産品の市場性が高い。
- ・ 食文化も似ており、市場性も大いに期待できる。

東海地区はLCCの直行便等で本県と往来できる国内有数の大消費地であることから、今後①鹿児島県のイメージアップ、②特産品の振興、③観光客の誘致促進等を目的に、どん鹿児島展を売り込んでいきたいと思えます。



JRや地下鉄、私鉄線が多数乗入れ、世界一の乗降客を誇る新宿駅に隣立する小田急新宿本店にて、5月22日（水）～27日（月）に「第3回 鹿児島物産展」を開催しました。

今回は、ミス薩摩焼酎が鹿児島のPRを行い、会場内では酒類等軽食が出来るミニایتoinsペースを設けたところ、夕方以降は臨時カウターを設けるほど賑わい、首都圏の方々の鹿児島への注目度の高さが窺えました。百貨店担当者からは、「黒豚、お茶、温泉水、つげ、竹製品は着実に認知度が上がってきている。今後は、マグネット力ある人気の郷土菓子や焼酎なども集客を図りたい。また、洋装などでも独自の世界観を持った出展者も探していきたい。」と本県特産品に対する期待と意気込みをいただいた物産展となりました。

## 首都圏で県産品をPR!

### 「自民党本部 鹿児島物産展」

首都圏での本県特産品のPRを目的に、5月16日(木)に自民党本部にて「鹿児島物産展」を開催しました。開会セレモニーでは、「関東さつま南の会」によるおはら節の披露があり、カンパチの刺身、日本一の鹿児島黒牛のステーキが振舞われ、長蛇の列が出るほど大盛況でした。また焼酎や伝統的工芸品(食品45品目、工芸品65品目)も紹介・販売しました。

一階幹事長をはじめとする自民党本部の関係者に、本県選出国会議員の方々も一丸となって鹿児島の特産品振興、観光PRを行い、鹿児島県を売り込んで参りました。



### 「かごしま遊楽館 24周年誕生祭」 鹿児島ブランドショップ東京店

今年で24周年を迎えるかごしま遊楽館では、毎年恒例の「誕生祭」を6月1日(土)～2日(日)の2日間開催いたしました。会場の1つである日比谷「ジラスクエア」では、薩摩川内市など4市2町が観光PRや特産品販売を行い、黒豚しゃぶしゃぶセットや特産品が当たる抽選会を実施するなど、大いに盛り上がりました。

また、かごしま遊楽館3階鹿児島ブランドショップ東京店内「工芸品ギャラリー」では、㈱ボタニカルファクトリーによる鹿児島産自然素材を原料としたオリジナル化粧品を作るワークショップを6月1日に行いました。参加者からは「わかりやすく勉強になり、簡単に作れて楽しかった」「美容液の基本成分、考え方など詳しく知ることができた」「今回自分で作ったものを早く家で使いたい」など化粧品の奥深さを知る機会になったと好評をいただきました。

当ギャラリーは、首都圏でPRできる絶好の場所ですので、是非、ご活用ください。



### 「かごしま風土シアター2019」

## 県外観光客に県産品の魅力発信!

本県各地域の特産品や観光情報を県外観光客にPR発信し、県民の皆様にも鹿児島の魅力を再認識してもらうため、令和元年5月1日(水)～2日(木)にアミュープラザ鹿児島前イベント広場にて「かごしま風土シアター2019」を開催いたしました。今回は、焼酎フェスティバル16歳元、特産品販売・飲食15社、市町村観光コーナー(5市町・団体)が出展し、約3万人が来場するなど、大いに盛り上がりました。

また、令和元年初日開催ということから、開催セレモニーでは鏡開きを行い、鹿児島「当地アイドル」サザンクロスによるかごしまPR大使就任記念ステージ、島唄ライブ、鹿児島レブナイズの選手のトークショー、市町村PRなども開催し、改元のお祝いと県内外の来場者に向けた鹿児島のPR・情報発信が出来た2日間となりました。

今後も当協会では、鹿児島県の特産品・観光PRを行って参りますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。



## モノづくりを支援します

「長島町特産品研修会」を開催

アドバイザー派遣事業の一環として、長島町のふるさと納税返礼品出品者（参加者38名）を対象にした「食品表示法」に関する研修会を6月19日（水）に長島町開発総合センターにて開催しました。

現在、経過措置期間（移行するための猶予期間）であり、令和2年4月1日より完全移行する食品表示法は、食品加工業者にとっては必ず対応しなければならぬ重要な法改正であり、当協会でも様々な機会と呼び掛けておりますが、早急な対応が必要となってきました。

今回の受講者の中には、「法改正に危機感があり、少しでも勉強しなければという思いから参加した」「専門家から直接指導受けないと、なかなか理解できていない事が多かった」などの声があり、意識の高さが窺えました。皆さまも食品表示等に関して不安な点がございましたら、当協会まで随時ご相談ください。

なお、当協会では、市町村や団体等を対象にアドバイザー派遣事業を行っておりますので、ご利用ください。



## 次世代への伝承を支援します

鹿児島純心女子短期大学学生が「薩摩糸びな」を製作体験

本県特産品に対する理解と認識を深めてもらうため、鹿児島純心女子短期大学学生を対象に毎年2回「特産品研修会」を実施しておりますが、今回は「薩摩糸びな」をテーマに6月28日（金）に県産業会館において開催いたしました。

講師に小澤人形の新山禮子氏をお招きして、糸びなの歴史やこめられた想い、製作方法などをご講話いただいたあと、実際に学生にも製作体験してもらいました。1ミリ単位での襟あわせに苦心しながら糸びなを完成させた学生からは、「従来のひな人形しか知らなかったが、鹿児島にこのような歴史あるひな人形があることを初めて知った」「製作は難しく、凄く手間がかかっていることが分かった」「この糸びなは守

つていき残していかないといけないものと感じた」など、とても嬉しい感想をいただきました。当協会では引き続き、伝統工芸品への理解と認識を深めるとともに、若い感性を活かしたモノづくりを支援して参ります。



## <津田事務局長の新任挨拶>

皆様、こんにちは。この度、事務局長を拝命しました津田です。

昨年は、明治維新150年という節目の年で、県内外でとても盛り上がりを見せた1年でした。

今年は夏に高校総体、来年には「燃ゆる感動がごしま国体・かごしま大会」の開催、「奄美・琉球世界自然遺産」の登録が見込まれるなど、今後も鹿児島県が注目されるイベントが目白押しです。

元号も「令和」となり、新しい時代を、皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



## 【鹿児島県特産品協会新体制】

(平成31年4月1日付)

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 専務理事(兼)ブランド支援センター所長 | 池田 誠   |
| 事務局長                | 津田 知久  |
| 事業局次長(兼)総務部長        | 茄子田 悦朗 |
| 事業部長(兼)流通企画課長       | 遠矢 喬志  |
| 企画開発課長(ブランド支援センター)  | 木下 和代  |
| 事業部流通企画課流通企画係長      | 帖佐 満   |
| 総務部総務経理課総務経理係長      | 山口 巧   |
| ブランドショップ課 鹿児島店長     | 堀脇 大嗣  |
| 企画開発課(ブランド支援センター)主事 | 池田 聡司  |
| 東京駐在副所長(東京店長)       | 木口 雄史  |
| 上海駐在事務所 所長          | 伊瀬 知 強 |
| 上海駐在事務所 副所長         | 湯ノ口 恒  |

## 会員紹介

スイーツに鹿児島県の味と魅力を宿し、いざ世界へ

株式会社スイートスイーツ  
シェフパテシエ 本多エリカ氏



鹿児島市上荒田町と清和でピンクの外観とハートの窓に可愛らしくデコレーションされたスイーツ店を営む『スイートスイーツ』。

「娘たちの喜ぶ顔が見たい」を一心に作り続けてきたスイーツ店も今年で開業10年目を迎えた。今では洋菓子のみならず、ジェラートも手掛ける。

昨年10月、「2018かごしまの新特産品コンクール」において鹿児島県観光連盟会長賞を受賞した『黒桜 - kokuou - 』は、桜島の溶岩と鹿児島県の「黒」をイメージし、徳之島産の純黒糖を使用した鹿児島にこだわり抜いた逸品。黒糖の奥深い甘みやまるやかさが伝わってくる味は、見た目からはなかなか想像出来ないダックワーズをモチーフにした洋菓子だ。このネーミングの命名者は、エリカ氏の夫、司氏である。エリカ氏によると「夫は、お菓子作り専門ではないが、私の発想、やりたい事を具現化してくれる」とのこと。二人は、店舗ではビジネスパートナーであるが、夫婦という関係だからこそ作り出せる掛け合いと、いつも店舗を支えてくれているスタッフたちの想い・努力は、この店らしいスイーツを生み出すのに欠かす事の出来ない素材の一つなのだろう。

またジェラートでは、今年3月に東京で行われたジェラートマエストロコンテストにて全国3位に入賞する実力の持ち主だ。「ジェラートに合わない素材はない」を合言葉に、今ではフルーツのみならず、野菜などの鹿児島県産の素材を使い、二人で様々なフレーバーを試作している。そして最終的には、白くまなどの鹿児島のかき氷文化と同じくらい、鹿児島県産素材を使用したジェラート文化を築いていければと意気込む。

スタッフ皆で悩み、案を出し合い、納得いくまで試行錯誤を重ねたスイーツは、将来的には海外への販路拡大を目指している。現在でも東南アジアから買いに来るお客様もいるが、3~5年以内には洋菓子の本場である欧米への進出が夢という野心家。輸出に向け、賞味期限の問題など日々勉強中ではあるが、様々な問題が解決できれば、本当に海外進出する日が近いのではないだろうか。

娘3人の子育てに奮闘しながらも、夫婦二人三脚と長年、現場で二人を支えてくれているスタッフたちの挑戦はまだ続く……。

## ふるさと特産運動推進指導員奮闘記

食品表示をいま一度チェックしましょう！！

ふるさと特産運動推進指導員  
食品担当 稲森龍平



この度、本年4月1日付けをもちまして、食品関係を担当致します稲森です。微力ではありますが、かごしまの売れる特産品づくりを推進・支援して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、「食品表示法」が、平成27年4月1日に施行され、いよいよ令和2年4月以降は、新基準に完全移行します。食品表示は、一般消費者の皆様が、食品表示を活用し、健康で安全な食事の摂取に役立てましょうという趣旨等で表示されるものです。現在販売されている商品の表示を一部チェックしたところ、従前の表示のままのところが見受けられます。主な変更点は、①原料原産地及び添加物の記載方法、②アレルギー表示に係るルールの改善、③消費者向けの加工食品の全てに栄養成分表示の義務化、④表示レイアウトの改善等です。食品表示法、食品表示基準に関するガイドライン、小規模の事業者における栄養成分表示の省略等については、消費者庁ホームページで検索・御参照ください。

なお、ご不明な点は、食品表示相談総合窓口「食品表示110番」（鹿児島県庁暮らし共生協働課消費者行政推進室内（電話099-286-2533 F A X 099-286-5524）、「食品表示相談窓口」（消費者庁 食品表示企画課）（電話03-3507-8800（代表）までお問合せください。

## 協会インフォメーション

### 「2019かごしまの新特産品コンクール」出品商品募集！

多様化する消費者ニーズに対応した売れる商品づくりを促進するため、「2019かごしまの新特産品コンクール」（主催：かごしまの新特産品コンクール実行委員会（構成員：鹿児島県・鹿児島市・当協会））を下記のとおり開催いたします。

応募区分は「一般の部」と「観光土産品の部」となり、「観光土産品の部」では、小売価格が概ね食品部門で1,500円以下、工芸・生活用品部門で5,000円以下の商品で持ち帰り（発送含む）可能な商品が対象となっております。皆さまのご出品をお待ちしております。

1. 審査会・表彰式  
①日時：令和元年10月8日（火）9：30～16：20  
②会場：鹿児島サンロイヤルホテル2階（太陽の間）
2. 応募締切 令和元年8月30日（金）当日消印有効（FAX・メール不可）
3. お問い合わせ・申込先  
公益社団法人鹿児島県特産品協会 ブランド支援センター  
〒891-0821 鹿児島市名山町9-1 TEL：050-3539-1080



### 「どんでん鹿児島」ロゴマーク活用について

鹿児島県では、鹿児島らしさがあり、リズミカルで、前向きなイメージのあるこのキャッチコピーのロゴマークを積極的に活用して、県内外及び海外に向けて、鹿児島をどんでんPRしていきたいと考えております。

キャッチコピーは、市町村、各種団体、民間企業等でも使用いただけますので、ご活用ください。

新しいキャッチコピー「どんでん鹿児島」を合言葉に、オール鹿児島で“どんでん”PRしていきましょう！

県ホームページ：<https://www.pref.kagoshima.jp/af07/catchcopy/20180104top.html>

### 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」ロゴデザインの使用、募金について

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局では、当大会のロゴや、マスコットキャラクター「ぐりぶーファミリー」をご使用いただく際のデザインを多数そろえております。両大会のロゴデザインやマスコット等の使用料が免除となる制度もございますので、是非ご活用ください!!

また、両大会を成功へ導くため、募金のご協力もお願いしております。この募金は、来場者をお迎えるおもてなし、花いっぱい運動、ボランティアの募集・育成・活動支援などの県民運動等の経費に活用させていただきますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

◎ロゴデザイン等使用について：<https://kagoshimakokutai2020.jp/greboo/>

◎ぐりぶーファミリー募金について：<https://kagoshimakokutai2020.jp/griboofamily-bokin/>

## イベント情報

### ㈱山形屋「第11回 どんでん鹿児島 ふるさと物産展」を開催します！

令和元年8月20日（火）～26日（月）の7日間、㈱山形屋にて県内特産品や観光情報を紹介する「第11回 どんでん鹿児島 ふるさと物産展」を開催いたします。

会期中は77社（工芸品18社、食品59社）が出展し、鹿児島島の技・食が一度に楽しめます。

また、今回週末特別イベントとしてひおきPR武将隊、サザンクロス、坂元メイケンバンドのステージイベントや特産品の当たるお楽しみ抽選会などもご用意しておりますので、皆さま是非、夏休みの思い出に足をお運びください。